

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化に加え複合的な生活課題が山積する状況ではあるが、地域住民による主体的な見守り活動や支援が継続して行われている。絶対的なマンパワーの不足が顕著であり、高い専門性に基づく支援展開を図るために、様々な専門機関と連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	各部門のミーティングと連動させながら、ケアプラザ内の全部門（所長、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター、居宅介護支援、通所介護）が参加する定例会議（月1回）を継続して実施し、個別課題から地域課題を捉え、課題を共有し、必要に応じ、地域ケア会議につなげていけるような会議体の流れを作る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域福祉保健計画『きらっとあさひプラン』上白根地区計画を、支えあい連絡会から地域住民に周知していき、計画が的確に実行されるよう、多職種連携しながらコーディネートしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住民より、詐欺の発生報告がある。旭区内の地域包括支援センターへ連絡し情報を共有するとともに、定期配布している広報紙にて周知に務める。また、消費者被害防止や特殊詐欺防止については民生委員懇談会等、人の集まる機会を利用して周知に努めていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	H30年度から実施している定例カンファレンス（高齢+障がい+α）にて事例検討を実施し、チームアプローチが効果的にいえるようにする（年3回）。事例によっては個別地域ケア会議としても開催する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	認知症であっても従来の活動が継続できるよう住民が支えているところを、ケアプラザもサポートして行く。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

各部門が出席する定例会議にて、地域課題を共有できるよう努めた。各部門ごとのミーティングで挙げられた個別事例の課題から、地域特性・地域課題を抽出し、優先的な取り組みが必要と思われる課題を検討するようにした。コロナ禍で感染予防・拡大防止の対応に追われていることが多かったが、その中でも情報収集の困難さなどが課題として挙げられた。

第4期『きらっとあさひプラン』上白根地区計画を地域住民と一緒に完成させ、地域住民に周知していく段階ではあったが、地域から新たな考え方や、見直しを必要とする意見が出てきたため、現在は内容を慎重に見極めながら進めている。

押し買いの被害などが有り、情報を取得後はすみやかに民生委員などに情報提供し注意を促した。旭警察署からの詐欺電話情報・見守り新鮮情報などを、民生委員懇談会や昼食会、広報誌、館内での掲示などを駆使して周知を行った。防犯講座も2回実施したが、まだ周知しきれていない住民もいると思われ、今後どのようにアピールするか課題である。

定例カンファレンスを2回開催した。感染拡大により1回は中止となった。その分個別事例の共有（特に精神保健福祉的課題を持つ利用者）を一度に多数共有することとなった。今年度も緊急時の対応が課題となった事例が有り、今後も連絡体制構築の検討を要する。一方で「少しでもどこかにつながる人は、緊急時にも『偶然』関わってくれる人がいた」ことも分かり、つながりをいかにつくるか、防災面からも役立つこととして考えて行きたい。

認知症を発症後も、元々参加していた地域活動のボランティアや昼食会などに継続して参加出来ている方がいる。主催者や他のボランティアの配慮が行き届き、ゆるやかな見守りの輪が出来ている。ケアプラザも当該利用者に関し地域の支援者と随時情報共有を行い、見守りの輪の構築に努めた。

区からのコメント

- ・高齢化率が高く困難な課題を抱える住民の多い地域ではありますが、日頃から地域と連携しながら柔軟で臨機応変な対応をされており、安否確認などの緊急時も迅速で的確な対応をされています。地域課題やニーズに合った社会資源の活用や関係機関との連携も図れています。今後も引き続き所内での情報共有や関係機関との連携を図りながら多様な地域課題への対応をお願いします。
- ・引き続き地域の「小さな福祉」に寄り添い、地域ケアプラザとして活動を後押しするとともに、地区別支援チーム内の連携を深め、支えあい連絡会など地区全体の取組を前進させてください。

令和4年度横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	自己防止及び個人情報保護に関する研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。特に個人情報の取り扱いについて、個人情報が含まれた文書をやむを得ずFAX送信する場合は、マニュアルに沿って、チェックシートを運用し、漏えい事故防止を図る。
実績	地域住民が自立した生活を営めるよう出来る限り主体性を尊重し、必要な社会資源やサービス等を自ら選び決められるよう資源やサービスが一覧できる資料やチラシ等を活用し、自己決定支援に取り組んだ。	個人情報保護及び事故防止の研修会を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図った。特に個人情報保護に関する研修は、昨年度に引き続き法人顧問弁護士によるZOOMによる講習を行った。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を発揮するかたちで自立した生活を営む事ができるように計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
職員体制	看護師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー2名(専従1名、兼務1名)	ケアマネジャー3名(うち管理者兼務1名、介護予防プランナー兼務1名)
契約者数	102名	65名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00~16:10 【定員】30名【通所介護】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

<p>利用料金・実費負担</p>	<p>【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:713円 要介護2:829円 要介護3:961円 要介護4:1,091円 要介護5:1,224円 ●その他利用料(1回分) 入浴介助加算Ⅰ:43円 中重度者ケア体制加算:48円 若年性認知症利用者受入加算:64円 サービス提供体制加算Ⅱ:19円 食費:750円 紙パット・紙パンツ50~100円 【第1号】 ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分 要支援1:1,792円 要支援2(週1回):1,792円 要支援2(週2回):3,674円 ●その他利用料(1ヶ月分) サービス提供体制加算Ⅱ(週1回:77円、週2回:154円) ●その他利用料(1回分) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50~100円</p>		
<p>職員体制</p>	<p>管理者1名 生活相談員2名 看護職員5名(機能訓練指導員兼務5名) 介護職員12名 調理員5名</p>		
<p>契約者数等</p>	<p>【延べ利用者数】7,588名 【契約者数】102名</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和4年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,811,500	1,078,749	15,890,249	15,890,249	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	5,300	△ 5,300	
横浜市による運営支援		706,260	706,260	706,260	0	
雑入	0	894,000	894,000	17,690	876,310	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他		894,000	894,000	17,690	876,310	物価高騰に伴う管理運営支援金
その他	4,046,000		4,046,000	4,046,000	0	
収入合計	18,857,500	2,679,009	21,536,509	20,665,499	871,010	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,588,500	0	11,588,500	16,662,639	△ 5,074,139	
本俸	8,428,500		8,428,500	12,159,685	△ 3,731,185	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	1,795,336	△ 795,336	
手当計	2,000,000		2,000,000	2,437,856	△ 437,856	
健康診断費	0		0	9,969	△ 9,969	
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000	174,304	△ 114,304	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	52,000	48,000	
その他	0		0	33,489	△ 33,489	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	676,397	1,368,603	
旅費	23,000		23,000	6,702	16,298	
消耗品費	300,000		300,000	139,242	160,758	
会議ठी費	1,000		1,000	12,665	△ 11,665	
印刷製本費	170,000		170,000	144,584	25,416	
通信費	380,000		380,000	59,970	320,030	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	721,000		721,000	17,226	703,774	
図書購入費	30,000		30,000	6,600	23,400	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	100,000		100,000	29,704	70,296	
振込手数料	3,000		3,000	440	2,560	
リース料	16,000		16,000	15,504	496	
手数料	1,000		1,000	440	560	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	300,000		300,000	243,320	56,680	
事業費	550,000	0	550,000	201,672	348,328	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	550,000		550,000	201,672	348,328	
その他	0		0	0	0	
ICT整備費（追加）	0	197,229	197,229	197,229	0	
ICT整備費（追加）		197,229	197,229	197,229	0	
サニタリーボックス（追加）	0	10,000	10,000	9,998	2	
サニタリーボックス		10,000	10,000	9,998	2	
管理費	4,200,000	0	4,200,000	6,663,434	△ 2,463,434	
光熱水費	3,440,000		3,440,000	5,614,707	△ 2,174,707	
清掃費	50,000		50,000	32,265	17,735	
機械整備費	180,000		180,000	175,191	4,809	
設備保全費	530,000	0	530,000	549,321	△ 19,321	
空調衛生設備保守	0		0	473,015	△ 473,015	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	29,199	801	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	500,000		500,000	47,107	452,893	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	291,950	△ 291,950	
修繕費	474,000	871,520	1,345,520	1,345,520	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	18,857,500	1,078,749	19,936,249	25,756,889	△ 5,820,640	
差引	0	1,600,260	1,600,260	△ 5,091,390	6,691,650	

自主事業費 収入	0	0	0	5,300	△ 5,300
自主事業費 支出	550,000	0	550,000	201,672	348,328
自主事業 収支	△ 550,000	0	△ 550,000	△ 196,372	△ 353,628

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
--------------------	---	---	---	---	---	----------------------

令和4年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,607,390	0	23,607,390	21,986,358	1,621,032	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
横浜市による運営支援		187,740	187,740	187,740	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	290,000		290,000	290,000	0	
収入合計	29,853,390	187,740	30,041,130	28,420,098	1,621,032	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,869,390	0	23,869,390	26,426,405	△ 2,557,015	
本俸	14,839,390		14,839,390	15,335,571	△ 496,181	
社会保険料	2,600,000		2,600,000	3,746,136	△ 1,146,136	
手当計	5,800,000		5,800,000	6,671,714	△ 871,714	
健康診断費	0		0	17,146	△ 17,146	
勤労者福祉共済掛金	230,000		230,000	366,561	△ 136,561	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	232,000	168,000	
その他	0		0	57,277	△ 57,277	
事務費	3,402,000	0	3,402,000	1,120,667	2,281,333	
旅費	200,000		200,000	18,744	181,256	
消耗品費	500,000		500,000	59,019	440,981	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	300,000		300,000	31,222	268,778	
通信費	100,000		100,000	21,944	78,056	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	800,000		800,000	48,722	751,278	
図書購入費	100,000		100,000	0	100,000	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	400,000		400,000	53,140	346,860	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	36,000		36,000	0	36,000	
手数料	0		0	702,636	△ 702,636	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	964,000		964,000	185,240	778,760	
事業費	1,256,000	0	1,256,000	471,608	784,392	
協力医	630,000	0	630,000	315,000	315,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000	3,990	348,010	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	151,878	2,122	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000	740	119,260	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,200,000	0	1,200,000	1,771,288	△ 571,288	
光熱水費	1,200,000		1,200,000	1,492,517	△ 292,517	
清掃費	0		0	8,576	△ 8,576	
機械整備費	0		0	46,569	△ 46,569	
設備保全費	0	0	0	146,020	△ 146,020	
空調衛生設備保守	0		0	125,737	△ 125,737	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	7,761	△ 7,761	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	12,522	△ 12,522	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	77,606	△ 77,606	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	29,853,390	0	29,853,390	29,915,988	△ 62,578	
差引	0	187,740	187,740	△ 1,495,870	1,683,610	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	626,000	0	626,000	156,608	469,392
自主事業 収支	△ 626,000	0	△ 626,000	△ 156,608	△ 469,392

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,000	3,740		7,000	3,740	3,260	14,000	11,869	2,131	100,000	87,762	12,238	14,000	3,755	10,245
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	4,000	3,740	260	7,000	3,740	3,260	14,000	11,869	2,131	100,000	87,762	12,238	14,000	3,755	10,245
支出	人件費	1,800	4,772	-2,972	3,500	1,000	2,500	13,000	10,206	2,794	60,000	70,520	-10,520	10,000	7,836	2,164
	事務費	60	0	60	110	0	110	500	367	133	10,000	8,261	1,739	1,500	918	582
	事業費	80	0	80	150	154	-4	500	507	-7	15,000	17,761	-2,761	2,500	1,973	527
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	19,734	-9,734	0	0	0
	その他	2,060	0	1,324	3,240	1,000	2,240	0	0	0	5,000	3,990	1,010	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,500	736	764	2,200	1,000	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	560	0	560	1,040	0	1,040	0	0	0	5,000	3,990	1,010	0	0	0
	支出合計(B)	4,000	4,772	-1,508	7,000	2,154	4,846	14,000	11,080	2,920	100,000	120,266	-20,266	14,000	10,727	3,273
	収支(A)-(B)	0	-1,032	1,768	0	1,586	-1,586	0	789	-789	0	-32,504	32,504	0	-6,972	6,972

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	H22	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者同士で、日頃の介護にまつわる苦労や疑問等を相談・話し合い、息抜きやストレスの解消、介護負担の軽減になるような場所づくり。	1：高齢者		西ひかりが丘商店街の喫茶カブカブにて、介護者・包括職員とで、サロン形式で雑談する。 毎月第2金曜日	11	46
2	囲碁教室	H20	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所づくりを目指している	1：高齢者		外出することが苦手な高齢者男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とする。ボランティアは福祉囲碁協会 年19回実施。	19	239
3	古典を学ぶ会	H20	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会が少ない方が、日本の古典を読むことを通じて、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1：高齢者		講師のご住職の方による、歎異抄の講読など。 ・毎月第4木曜日	5	25
4	にこにこ会	H18	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り。	2：障害児・者		会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。 ・毎月第4火曜日	10	49
5	子ども科学クラブ	H17	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の小学生の3年～6年生までを対象に、様々な科学おもちゃ工作を通じて科学的興味を育てる。	4：子ども・青少年		講師にNPO法人おもしろ科学たんけん工房 横浜北2地区のメンバーを迎えて、年3回程度、工作を指導していただく計画を立てたが、費用負担とコロナ禍であることを踏まえ実施に至らなかった。	0	0
6	ひかりの会	H18	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。	2：障害児・者		月に一度仲間と簡単な体操や脳トレなどを通して親睦を深めるサロン活動。 ・毎月第3火曜日に開催。コロナ禍により、9回実施した。	9	53
7	団地内民生委員懇談会	H22	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	5：地域		市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行う。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもある。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともある。 ・毎月第2金曜日	10	116
8	健康 吹き矢	H26	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりの男性等の外出のきっかけづくり、また吹き矢による腹式呼吸トレーニングと腹筋・口の周りの筋力強化による健康増進。	5：地域		呼吸法を意識しながら、ゲームを楽しむ。 ・毎月第1水曜日、第3月曜日、第4土曜日 ・コロナ禍により中止中だが、状況改善次第再開予定。	0	0
9	みんなの庭	H26	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。	5：地域		ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、随時手入れに参加していただく。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。 ・年2回（5月・11月）＋不定期	7	121
10	歌謡体操	H25	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5：地域		カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に利用し、歌いながら体を動かしていけるようにする。また、ライブDAMだけに促われず楽しく続けられるようDVD（四季の歌）も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立てていく自主性のきっかけとしていただく。 ・毎月第1・3月曜日	21	282
11	団地外民生委員懇談会（上白根民生委員連絡会）	H22	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	上白根町のうち、中原街道北側地区戸建てエリア担当民生委員との、情報交換実施による連携強化。	5：地域		市営・UR団地外の上白根地区担当の民生・児童委員（2委員）との情報交換や地域課題についての相談・検討の実施。連携・協力体制の強化。 ・毎月第2金曜日	1	12
12	GOGO健康！講座 コグニサイズ	R4	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が体操に参加することにより要支援。要介護状態になることを予防する。体操と脳トレを組み合わせることでより身体機能の向上と、認知症の予防を同時に行う。	1：高齢者		2チームに分けて、各1チーム月に1回ずつコグニサイズを行う。講師をピアアウェイに依頼。 ①第一金曜日には、80歳以上、要支援・要介護認定者等の虚弱高齢者 ②第4木曜日は79歳以下の元気な高齢者。	23	295
13	GOGO健康教室 口腔ケア講座	R4	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1：高齢者		コグニサイズの教室に続けて口腔ケア教室を行うことで集客と体操と口腔ケアの両方からアプローチすることで相乗効果を狙う。 講師：川野伸子歯科衛生士 年2回開催	2	21

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)	■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることを ねらうとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	GOGO健康教室 栄養講座	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスの取れた食事を摂ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1: 高齢者		コグニサイズの教室に続けて栄養教室を行うことで集客と体操の両方からアプローチすることで相乗効果を狙う。 講師: キュービー株式会社より派遣 年2回開催	2	29
15	URハマトレ体操	H30	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的な体操をすることで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りにも繋がっていく。	1: 高齢者		URハマトレ教室との協働事業。通常はハマトレの映像を見ながら体操を行う。年4回程度栄養教室や体力測定などの講座を行う。 第4月曜に開催	12	126
16	URハマトレ体力測定	H30	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。毎月ハマトレをおこなっているグループを中心に体力測定を行い体力の現状把握をする。体力測定をハマトレ参加のきっかけとなるようチラシを配布する。	1: 高齢者		URハマトレ教室との協働事業。講師として区のリハ職派遣事業からPT派遣を依頼。 年2回開催	2	24
17	URハマトレ 栄養講座	H30	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスの取れた食事を摂ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1: 高齢者		URハマトレ教室との協働事業。区の講師はキュービー株式会社より無料派遣。 年1回開催	1	13
18	地域貢献デー	H25	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	旭陵高校の生徒と一緒に地域福祉を学び、生徒一人ひとりに地域社会の一員であるという自覚と責任を持たせるとともに、様々な活動を通して地域の方々との交流を図る。	4: 子ども・青少年		ケアプラザの機能や、地域福祉について学習し、生徒と一緒に清掃活動や高齢者等との交流を行う。	1	26
19	助け合いが当たり前プロジェクト	R1	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	「よこはまシニアボランティアポイント」を通じて、高齢者が地域の介護施設等で活動する事で、ご自身の介護予防・社会参加を通じて「生きがい作り」を促進する為。また、ボランティア(支え合い)への理解を深める事で、地域共生社会へ向けての基盤を作る。	1: 高齢者	5	よこはまシニアボランティアポイント登録 研修会 ・不定期	2	9
20	夏休み子どもクラブ	H17	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(科学クラブ、クッキー教室、手芸教室など)で恒例となっている。	4: 子ども・青少年		定期的に開催している子ども科学クラブに加え、クッキー等の手作り教室を開催。	4	59
21	大人の料理倶楽部	H29	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	一人暮らしが多く、資力でバランスの取れない食事をしている方も多く、得意料理が有って人に食べさせたいと考える方等、少人数の中で講師をあえて作らず、自主的に助け合える関係性作りを目指す。長期目標としては担い手の育成を考える。	5: 地域		お料理作りを通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・毎月第1金曜日開催予定だったが、コロナ禍により開催せず。	0	0
22	楽しく健康！健康マージャン	H29	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。	5: 地域		麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・第4金曜日	6	26
23	食品衛生講習会	H29	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解いただく。	5: 地域		日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。 ・年1回(7月)	1	10
24	第18回 ひかり福祉フェスタ	H12	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすくする狙い。	6: 事業者	5	グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会(カブカブ他)と共催、包括では介護予防の啓発、地域交流では催しもの事前準備のためのボランティアをコーディネート(引き続き来場者のための記念品を作成するボランティアが事前に活動を実施)。 ・年1回(11月)の予定だったが、コロナ禍により開催せず。	0	0
25	上白根旭区版エンディングノート活用講座	R1	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者等が、終末期に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノート書き方講座を実施する。成年後見制度普及も視野に入れ講義を行う。	1: 高齢者	5	旭区版エンディングノートを用い、記述例をもとに項目ごとの意図を説明しながら、一部鉛筆で下書きしてもらい、必要性を認識してもらう。併せて成年後見制度の説明をする。コロナ禍により開催せず。 ・不定期	0	0
26	福祉フェスタ健康チェックコーナー	H26	6: 共催(2と3)	2: 発展させるねらい	主に地域の高齢者を対象に健康状態をチェックする機会を設け、健康に対する興味を持ってもらい、ひいては介護予防の意識付けをする。	1: 高齢者	5	骨強度、ストレスチェック、血管年齢、血圧、身長、体重などを測定。希望者には健康、栄養、口腔の個別相談を行う。健康講話、健康体操を実施する。 ・年1回(11月)コロナ禍により開催せず。	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
27	旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	H24	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作る。	5：地域		ケアプラザ機能の周知 ・各ケアプラザの事業をパネルで紹介 ・子育て世代を中心とした多世代交流プログラムの実施(わなげ) コロナ禍によりケアプラザブースの出店がなかった。	0	0
28	四季の森小学校4年生・視覚障がい者交流会/車椅子の扱い方講習会	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	視覚障がい者と交流し、学ぶことで、視覚障がい者を知る。さらに、車椅子の扱い方を学ぶとともに、障がいを持った方への接し方を学ぶ。またケアプラザの紹介を行いケアプラザを知っていただく。	4：子ども・青少年	2	視覚障がい者と交流し、その方の想いや生活についてお話を伺ったり、点字の実物を見る等、視覚障がい者について学び、また車椅子に実際に触れ、扱い方、気を付けなければならない事について話し合う。更にケアプラザの紹介を行い、ケアプラザを知っていただく。 ・年1回(12月) 学校の要変更により異なった形で開催。(みんなを笑顔にクローバー大作戦へ移行)	0	0
29	四季の森小学校2年生のまちたんけん授業	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	四季の森小学校2年生の総合学習に沿って、地域にあるケアプラザの役割を知らせ、利用している住民との交流を繋げる	4：子ども・青少年	1	年2回の授業を担当し、1回目はケアプラザ紹介、2回目は子どもたちからの質問への回答とケアプラザ利用の地域住民との交流の場を作る。	2	38
30	あさひくんとアソボ体操による世代間交流	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ひかりが丘保育園の園児と一緒に新たに作成された「あさひくんとアソボ体操」を地域の高齢者と一緒にを行い、世代間交流を行う機会とする。地域の高齢者と幼児がイベントをきっかけにあいさつができるように地福計画の一つである「あいさつ活動」に繋げる。	1：高齢者	3	新しい体操である「あさひくんとアソボ体操」を練習し、その後保育園園庭で園児と一緒に体操に参加し、交流の機会を持つ。	4	72
31	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるプロジェクト	R3	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者に無理なく行える運動	5：地域		認知症サポーター養成講座 ・不定期、コロナ禍により開催せず。	0	0
32	ひかり卓球部	R1	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域の高齢者に無理なく行える運動として卓球を楽しんでいただくことで、体力の維持を図る。また、交流や仲間づくりの場としても機能することで広く地域福祉に貢献する。	1：高齢者		卓球のゲーム(5分また10分毎に交代)と参加者同士での懇談。 年26回開催	26	232
33	ユマニチュードDVD上映会	R1	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症普及啓発次号の一つとして実施。地域住民に認知症の方への対応の仕方、ケアの技術を伝え、介護者負担の軽減、認知症の方の地域での見守りに資することを目的とする。	5：地域	1	NHKより無償提供されたDVD「ユマニチュード」全3巻を上映する。介護者等向けに貸出しも実施する。また、NHK厚生文化事業団の福祉ビデオ貸出し事業もPRする。	2	23
34	西ひかりが丘地域消費者被害・振り込み詐欺防止講座	R4	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域の高齢者等が悪質商法や振り込み詐欺などの被害にあわぬよう、事前に防止することを目的に講演会を実施する。	1：高齢者	5	地域の消費生活推進員とひかりが丘地域ケアプラザ地域包括支援センターが共催し、防犯演劇のお芝居を楽しみながら防犯力を身につける。コロナ禍により開催せず。	0	0
35	認知症普及啓発「世界アルツハイマー月間」	R4	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	アルツハイマーデーに合わせて、認知症に関する知識の普及啓発を実施し、認知症高齢者等への理解を得て、地域での見守りが効果的になされるようになる。	5：地域	1	世界アルツハイマー月間を中心に、館内で資料等の掲示、資料の配布等の実施を行う。認知症に関するミニ講座も実施。 年1回開催	1	26
36	わたしの「もしも手帳作り」	R4	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	横浜市の「もしも手帳」を普及するために、「わたしの『もしも手帳』作り」として、もしも手帳を挟んでいるお薬手帳カバーをデコレーションして、自分用にカスタマイズする。終活の一環として、「もしも」の時間について考えておくこと、連絡先等を携帯することの重要性を伝える。	1：高齢者		地域住民のサロンや介護予防教室で実施。今年度は西ひかりが丘団地の住民サロン『つどい』で実施。コロナ禍により開催せず。	0	0
37	ひだまり	H20	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	身近な場所で定期的に身体を動かす(太極拳・健康体操)、筋力の低下を予防し、歌を歌い、脳トレや工作をすることで、高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話がはずんだりお互いの見守りにもつながっていく。地域の高齢者になった	1：高齢者		月に2回のサロンとして、第2水曜は太極拳と大正琴による伴奏の合唱、脳トレを行い、第4水曜は健康体操とピアノ伴奏による合唱、脳トレを行う。毎回、包括看護師による健康講話を行う。	20	490
38	終活講座	R3	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	地域の高齢者等の終末に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノートの内容を含む終活講座を実施する。	1：高齢者		相続遺言講座セミナー講師による講座を通して家族や人生について考えるきっかけを持ってもらうため講座の開催を実施する。コロナ禍により開催せず。	0	0
39	UR&CP共催出張相談会	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護、福祉、健康及び医療などに関して、より身近な地域で気軽に相談ができる機会を設ける。	1：高齢者		西ひかりが丘団地に居住されている高齢者を対象にひかりが丘CP包括支援センター職員が地域に向き、福祉、保険、介護の相談会を開催。(年9回)	9	16

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
40	ボランティア講演会	R4	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域の県立高校で開催されるボランティア講演会に出席して、ケアプラザの働きを紹介し、上白根「地区」においてボランティアの啓発及び発掘を行う。	4: 子ども・青少年		横浜旭陵高校で毎年3月に開催されるボランティア講演会でのケアプラザの活動紹介とボランティア団体の紹介を行い、先生と連携を取りつつ、地域でのボランティア活動に生徒を繋ぐ。	3	5
41	四季の森小4年生 みんなを笑顔にクローバー大作戦	R4	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	四季の森小4年生の総合学習に沿って、地域にあるケアプラザを利用している住民との多世代交流を行う	4: 子ども・青少年	1	小学生からの手紙を受け取り、歌謡体操グループの参加者へ届け、参加者とともに返事を書き、合同のプログラムを企画、実行する。	3	47